

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2005-353507(P2005-353507A)

【公開日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-050

【出願番号】特願2004-174968(P2004-174968)

【国際特許分類】

F 21 V 8/00 (2006.01)

H 01 L 33/00 (2006.01)

F 21 S 8/04 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21 V 8/00 601D

F 21 V 8/00 601E

F 21 V 8/00 601F

H 01 L 33/00 M

F 21 S 1/02 G

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月25日(2008.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

放熱性基板と、

前記放熱性基板上に略線状に配列した複数個のLEDと、

前記LEDの中で、連続して配置される二個以上のLEDを一括して囲繞するリフレクタと、及び

前記LEDの光を導入する光導入面と、及び導入光を放射する発光面とを有する導光板と、

を備えて、

前記光導入面が、前記導光板の少なくとも一つの端部の裏面に形成されており、

該端部位置の導光板端面が、導入光を反対側端面方向に反射する傾斜を有する、

ことを特徴とするバックライト装置。

【請求項2】

リフレクタが取付部を有し、該取付部を利用して、該リフレクタと、前記放熱性基板と、及びヒートシンクとが連結するようネジ止めされることを特徴とする請求項1に記載のバックライト装置。

【請求項3】

放熱性基板は段差を有するヒートシンクからなり前記ヒートシンクは凹部ないし溝部(段差を含む)を有し、該凹部ないし該溝部に前記リフレクタと前記放熱性基板が段差に嵌入されていることを特徴とする請求項2に記載のバックライト装置。

【請求項4】

前記複数個のLEDが、複数個の青色発光LEDと、複数個の赤色発光LEDとを含み

前記青色発光 L E D の光が照射する位置に黄系ないし黄緑系蛍光体をさらに備える、請求項 1 から 3 のいずれかに記載のバックライト装置。